

# I 栃木県の概要

## 1. 沿革

本県は、毛野国と称していたが、上毛野国がわかれて下毛野国となり、更に毛の字が省かれて下野国となりました。

明治4年の廃藩置県により栃木、宇都宮の2県が誕生し、同6年6月15日には2県が合併し、今日の栃木県の原形ができあがりました。明治9年に上野3郡を群馬県に移管し、同17年に県庁を栃木から宇都宮に移して、今日の栃木県の姿がつけられました。

## 2. 栃木県の位置

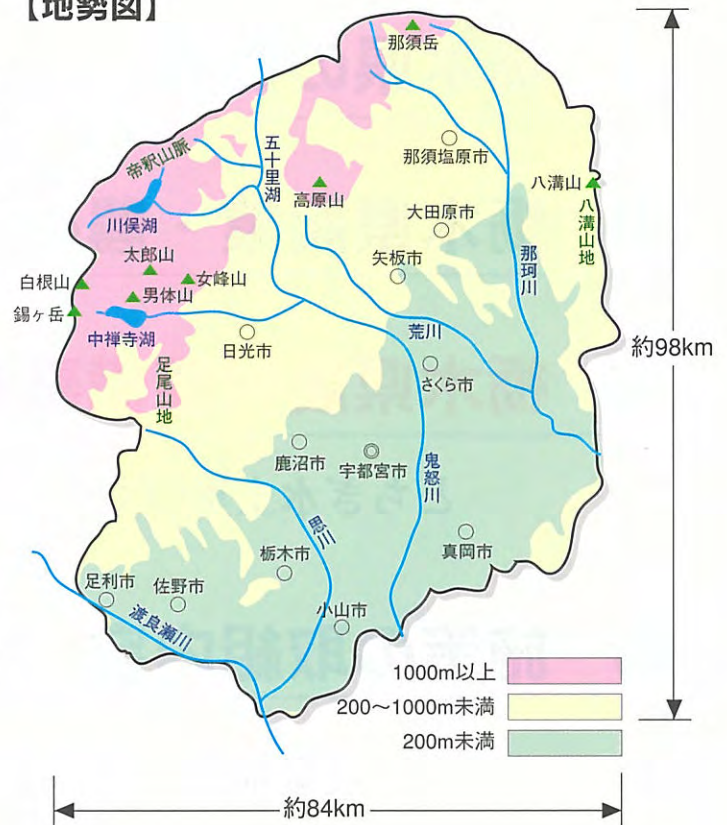
本県は、関東地方の北部に位置する内陸県であり、南東部を茨城県、南西部を群馬県と埼玉県、北部を福島県に各々接しています。

県庁所在地

宇都宮市塙田1丁目1番20号

(東経139度53分・北緯36度34分)

【地勢図】



## 3. 地勢

■ 本県の自然は、東部の八溝山地、北部から西部にかけての那須連山、帝釈山地、足尾山地の山岳地帯と東部の那珂川、中央部の鬼怒川、南部の渡良瀬川の沿岸平野部に大別されます。

■ 東部の八溝山地は標高600～1,000mのなだらかな丘陵地です。

■ 北部から西部にかけての山岳地帯は日光国立公園に指定されており、日光、鬼怒川、那須、塩原などの観光地があります。那須連山は、那須、高原、男体の諸火山連なる険しい山岳地帯で、瀑布や湖沼が点在しています。

また、諸河川の源となっており、鬼怒川は中央部を、渡良瀬川は群馬県との県境を流れ利根川に合流し、那珂川は八溝地域から茨城県に入り、ともに太平洋に注いでいます。

■ 面積は6,408km<sup>2</sup>、東西約84km、南北約98kmで、関東地方の中で最も広大であり、全国で第20位の広さとなっています。

## 4. 県土利用（17年度）

